

**事業継続計画書**  
**(感染症パンデミック編)**

## 1. 想定被害

### 1) 感染症パンデミックの特徴

必要となる業務を確実に実施しなければならない点で、新型インフルエンザ等感染症パンデミックも地震のように急激に発生する災害と同様な点もあるが、感染症と地震は、その被害状況、発生の仕方、影響期間は大きく異なる

感染症パンデミックでは長期間にわたって行動が制限される。また、お客様のみならず従業員の感染対策を事業継続と並行して実施しなければならない。

項目	感染症の場合	地震の場合
発生	海外で発生の場合、国内発生までに準備可能。	突然発生する。
被害内容	直接的には人への被害で、時間の経過とともに被害が拡大。	人への直接的な被害(外傷など)に加え、道路、鉄道、建物、施設、設備への被害が大きい。
地理的な影響	世界中(日本中)どこでも発生、及び感染の恐れ。	被害が地域限定的で、被災地外からの支援が可能。
被害期間	第一波の期間が約8週間、その後の第二波、第三波による長期化の可能性あり。ワクチンや治療薬の開発まで警戒が必要。	最初の地震が最大被害であり、余震も一定期間継続。直接の被災地でない場合、早期に復旧する。

### 2) 警戒レベル

フェーズ	事象	警戒レベル
フェーズ1	海外での発生	レベル1
フェーズ2	国内での発生	レベル2
フェーズ3	パンデミック宣言(WHO)	レベル3
フェーズ4	緊急事態宣言(国内、地域別)	レベル4
フェーズ5	業務遂行に影響を及ぼす深刻な事態	レベル5
フェーズ6	緊急事態宣言の解除(復旧)	レベル3

### 3) 想定する被害

	鳥インフルエンザ(H5N1)由来の 新型インフルエンザ	新型コロナウイルス
発病率	25%	2%
欠勤割合	40%	クラスターの場合50%
回復までの期間	10日	14日
流行期間	2か月	1年～2年

#### 4) 想定される被害状況

感染症パンデミックが発生した場合の被害状況は以下のとおりである。

	第一段階 (海外発生期)	第二段階 (国内発生早期)	第三段階 (感染拡大、蔓延、回復期)	第四段階 (小康期)
消費行動	まとめ買いが始まる ① マスク ② 衛生用品 ③ 備蓄食品	全国的にまとめ買いが加速	・全国的に外出自粛・規制 ・外食の機会が減少 ・宅配需要が増加	・栄養価の高い食品への需要が増加 ・外食に対する需要が増加
生活行動様式		・外出自粛 ・テレワーク	・外出規制、3密(密閉空間・密集場所・密接場面)の回避 ・人の移動の激減	・移動の回復
生産量供給量	備蓄適性の高い食品の需要拡大を想定した増産	需要が拡大し始め、通常時の生産量を上回る	・サプライチェーンの機能低下により、一部地域で供給力低下	
原材料調達 (輸入)	発生国からの輸入量が減少	輸入業務が遅延、停滞	・輸入業務が遅延・停滞	輸出国でまん延状態が続く場合、供給の停滞が継続
原材料調達 (国内)		発生地域で欠勤者が増加し、原材料の供給量に影響	・原材料等の調達が停滞	・停滞していた原材料等の供給が再開
従業員の感染		・従業員の一部に感染者が発生 ・感染者以外にも濃厚接触者や学校閉鎖等により、欠勤者が増加	・自社やサプライチェーンに係る事業者の経営者・従業員の感染拡大 ・不特定多数の者が利用する業態では、顧客、従業員との間での感染拡大の危惧が高まる	第一波で感染した従業員の一部が回復
流通		急激な需要拡大に伴い、一部食品の流通在庫が減少	・原材料、梱包資材、輸送手段の供給が一部停滞 ・宅配需要の増加に伴い、十分な宅配サービスの供給が困難	

5) 重要業務における想定される問題点(感染拡大期・まん延期)

重要業務	ボトルネック	具体的被害・問題点
タクシー・ハイヤー	乗務員	感染不安
		出勤回避
	車両	感染対策装備
	職員	感染不安
		出勤
	施設	感染予防措置
		消毒液の配備
	交通事情	自動車車両激減
		交通事故率のアップ
		駅(公共交通機関)利用者激減
	お客様	感染不安
		リモートワーク増加、自転車通勤増加
夜間外出、飲食機会激減		

重要業務	ボトルネック	具体的被害・問題点
無線センター	センター内	3密回避の配席
		クラスター発生時の業務ストップ
	オペレーター	感染不安、通勤困難
工場	設備	クラスター発生時の整備ストップ
	整備士	感染不安、通勤困難

## 2. 感染予防対策

### 1) 概要

平時から、病原性の高い新型インフルエンザの発生・流行に備え、海外発生期、国内発生早期～回復期及び小康期のそれぞれの段階における対応策を策定し、社内での感染者発生の抑制および感染拡大の防止に努める。

### 2) 事前準備(平時からの対応)

感染症パンデミックの発生に備え、以下の事前準備を行う。

視点	課題	対策	実施内容												
事業所 衛生	備蓄	衛生用品の 備蓄	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 不織布製マスク:乗務員数×3ヶ月分(50 枚入り <u>2</u> 箱)</li> <li>□ ハンドソープ:業務用詰替 <u>2</u> 個</li> <li>□ 手指消毒液(アルコール等):事業所数ごとにポンプ4、業務用詰替 <u>2</u> 個</li> <li>□ 非接触体温計: <u>10</u> 個</li> <li>□ 使い捨て手袋(1 箱 100 枚入り):2 箱</li> <li>□ 衛生用品の仕入れ先確保</li> </ul>												
	手指・飛沫 対策	手洗い習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 手洗い・洗面場所にハンドソープを設置して平時からの手洗いを促す</li> </ul>												
	感染者発生 対応	事業所消毒 業者選定	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 感染者を出した事業所の大規模な消毒が必要な時に委託する業者リストを作る</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>業者名</th> <th>電話</th> <th>住所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	業者名	電話	住所									
	業者名	電話	住所												
検温励行	出社時の 体温チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 37 度 5 分以上は勤務不可</li> </ul>													
車両内 衛生	備蓄	感染対策用品 の備蓄	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ セパレートカーテンその他必要用品の備蓄 ⇒保有タクシー台数分</li> </ul>												
	感染対策	感染対策車両 の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 感染対策車両への代替(一部)</li> <li>□ 空気清浄機</li> </ul>												
業務	テレワーク体 制(営業所職 員)	テレワーク 環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 社内システムへのリモートアクセス環境のメンテナンス</li> <li>□ オンライン会議環境のメンテナンス</li> <li>□ 発生時のテレワーク勤務対象者を決めておく(営業所)</li> <li>□ 事業所間会議を原則オンラインとする</li> </ul>												

サプライチェーン	取引先対応	取引先の分散・内作検討	<input type="checkbox"/> 重要資材の仕入を複数社に分散する。または代替仕入先を選定 <input type="checkbox"/> 重要部品の内作化を検討する
経営管理	ビジネスモデルの改良	DX、IT化推進	<input type="checkbox"/> アプリの強化 <input type="checkbox"/> 配車サービスのオンラインによる提供を強化
		新規事業の検討	<input type="checkbox"/> 非対面型ビジネスの実施検討
		ハイヤー営業手法の多様化	<input type="checkbox"/> オンライン営業の仕組みの導入 <input type="checkbox"/> Web受注強化
	人材管理	多能工化	<input type="checkbox"/> 定期的な業務ローテーション <input type="checkbox"/> 業務上必要な資格の保有者を増やす
	健康経営	健康経営の実践	<input type="checkbox"/> 検診 100%、再検査 100%受診 <input type="checkbox"/> 社内飲料自販機の品揃え見直し(お茶、低糖飲料中心) <input type="checkbox"/> 禁煙促進運動(ポスター、社内講演会等)
経営改善	継続的な経営改善	<input type="checkbox"/> 定期的に経営状態を自己評価または専門家の診断を受けて改善する <input type="checkbox"/> 借入金の削減 <input type="checkbox"/> 取引先金融機関の数的・質的強化	

### 3) 発生後の対応

#### (1) 危機対策本部の設置

新型インフルエンザが海外で発生した段階で日本交通本社内に対策本部が設置される。設置後は海外での流行状況等の情報収集を中心に行い、国内発生に備える。

東洋交通は実務上、日本交通のタクシー営業所と同等の体制で運用されるものとし、日本交通 本社の危機対策本部の指揮下において、日本交通グループ一体となり事業継続に取り組むものとする。

#### (2) BCPの発動基準

BCPの発動および解除は危機対策本部長が指示する。

段階	BCP発動基準
BCP発動	拠点所在地域(例えば都道府県)に感染者が発生した段階
BCP解除	拠点所在地域の流行状況等を総合的にふまえて判断

#### 4) 重要業務継続のための対策

##### (1) 重要な経営資源に関する現状把握と事前対策の検討

重要業務を継続するために必要なリソースは以下のとおりである。

区分	経営資源の現状確認	対策
人的資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員の感染状況を確認する手段があるか</li> <li>・重要業務を行う従業員が感染等の理由で出社できない場合に、代行できる従業員がいるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出勤時の体調確認、勤務可否判断基準の策定</li> <li>・職員ローテーションと多能工化の推進</li> <li>・安否確認手段を導入し、従業員の安否確認体制を整備する。</li> <li>・在宅勤務規程の整備</li> </ul>
物的資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内の衛生用品および重要業務従事者に対する備蓄品を備えているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生用品の備蓄基準の策定と備蓄実施。</li> <li>・購入ルートの確立</li> </ul>
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型感染症流行時の情報システムの維持について社内および業者と検討しているか。</li> <li>・緊急時における顧客・取引先の連絡先を知っているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム担当、無線担当の輻輳化</li> <li>・システム部門・メンテナンス業者等とシステムの監視体制を検討する。</li> <li>・顧客・取引先の連絡先リスト作成と共有</li> </ul>
資金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上激減による手元流動性の確保について金融機関と調整しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時運転資金融資枠の設定</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時における原材料・燃料等について、調達先と検討しているか。</li> <li>・取引先と流行時に優先的に供給する製品について検討しているか。</li> <li>・行政の過去の支援策に関する情報を整理しているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料等の調達ルート確保</li> <li>・取引先と優先的供給を確立</li> <li>・行政情報の収集先の整備</li> </ul>

### 3. 発生時の対応

#### 1) 発生してからの対応の流れ

##### (1) 海外発生期～BCP発動まで

- ・危機対策本部の設置、感染予防策の実施、BCP発動の判断
- ・国内外の流行状況、政府・自治体の対応に関する情報収集および情報発信

##### (2) BCP発動中

- ・重要業務継続のための体制の実施、感染予防策の継続・強化
- ・流行状況、政府・自治体の対応に関する情報収集および情報発信

##### (3) BCP解除後

- ・通常勤務体制の復帰、感染予防策の緩和・継続
- ・第二波、三波 に備えた準備

#### 2) 部署別レベル別の対応・対策（概要）

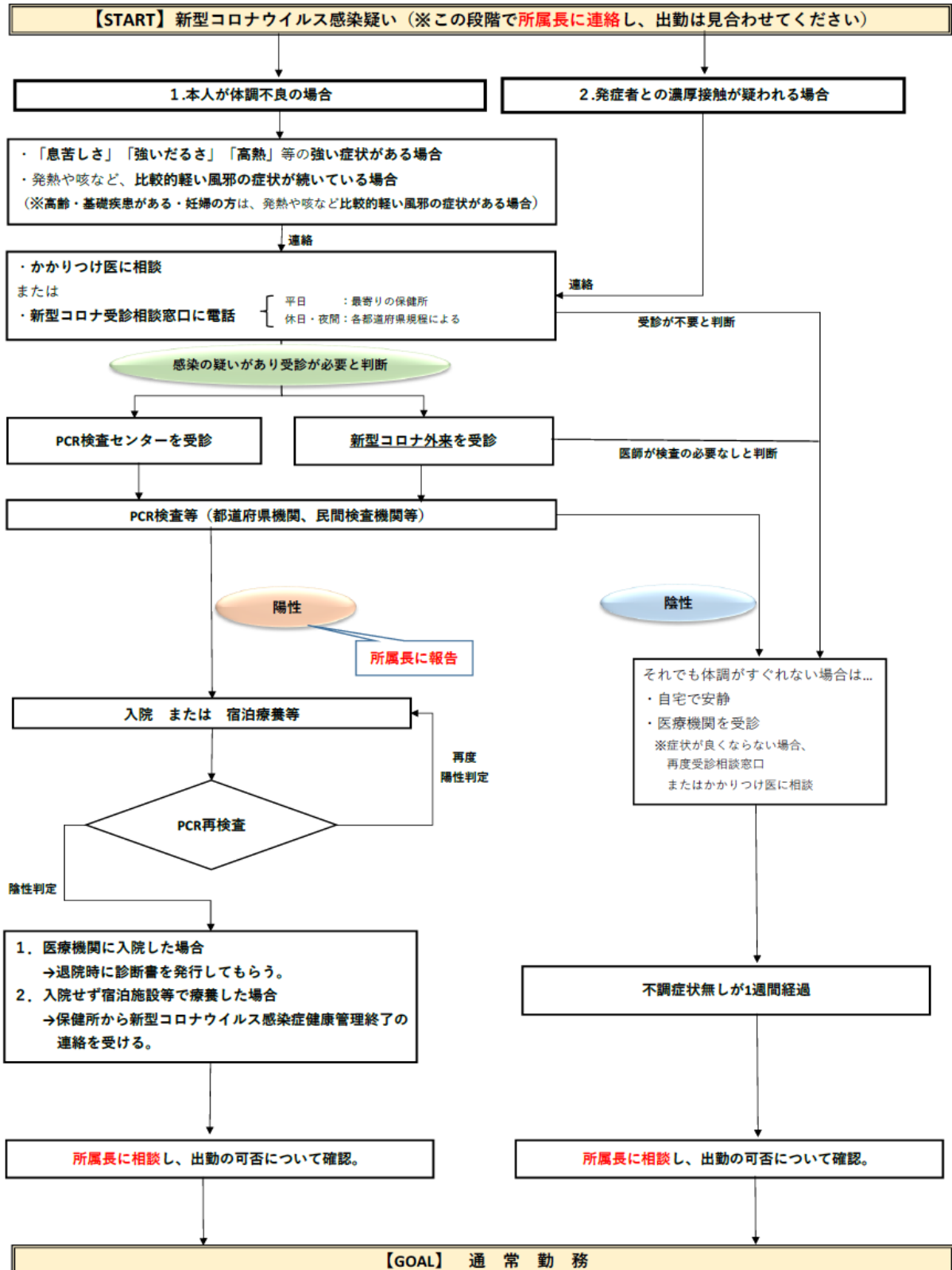
対応部署	発生期	拡大・まん延期	小康期
本社	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 危機対策本部設置</li> <li>□ マスク、衛生用品の調達、営業所配布</li> <li>□ BCP発動判断</li> <li>□ 国内感染状況等情報収集と発信</li> <li>□ 融資枠の交渉・確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 感染予防の継続強化指示</li> <li>□ 会議等をリモート実施</li> <li>□ テレワーク指示、出勤者調整（輪番制等）</li> <li>□ 行政の支援策情報収集と給付金申請</li> </ul>	⇒収束期まで継続
タクシー・ハイヤー 共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 感染対策実施</li> <li>□ マスク着用指示</li> <li>□ 検温、体調管理徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 感染予防の継続強化 手指消毒、うがい、マスク着用の徹底</li> <li>□ 車両の感染予防</li> <li>□ お客様にマスク着用要請</li> <li>□ 体調不良者乗務禁止</li> <li>□ 休業（出番調整）検討・実施</li> <li>□ 休業実施</li> </ul>	□ 感染予防徹底した上で業務継続
ハイヤー営業		<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 営業活動のリモート化</li> <li>□ 顧客へ感染予防対策の説明</li> </ul>	□ 取引先と協議しながら訪問活動
NCC・工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 感染対策実施</li> <li>□ マスク着用指示</li> <li>□ 検温、体調管理徹底</li> <li>□ チームの輻輳検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 感染予防の継続強化 手指消毒、うがい、マスク着用の徹底</li> <li>□ 複数グループでの業務運営</li> </ul>	⇒収束期まで継続

3) 感染者・濃厚接触者への対応(新型コロナウイルス感染症の場合)

◆新型コロナウイルス感染症対応フロー

2020年7月14日版

このフローチャートは、「1. 本人が体調不良の場合」と「2. 発症者との濃厚接触が疑われる場合」に分けて対応を確認してください。



4) 発生時の対応内容(詳細)

(実施するフェーズ定義= 1:海外発生期 2:国内初期 3:蔓延期 4:小康期)

視点	課題	対策	(フェーズ)				内容
			1	2	3	4	
事業所 衛生	備蓄	備蓄品の 確認・補充	○			○	<input type="checkbox"/> 備蓄品が計画数量用意されているか棚卸し 確認する <input type="checkbox"/> 不足がある場合は即時に補充する
	感染対策 (共通)	手指消毒			○		<input type="checkbox"/> 手指消毒液を社内に設置 <input type="checkbox"/> 事務所入出時、出庫時・帰庫時の手指消毒の 実施
		手洗い習慣の 強化		○	○	○	<input type="checkbox"/> 出勤時、出庫時・帰庫時、トイレ使用時、食事 前、外出から帰社時の手洗いを、社内ポスター と朝礼で周知徹底する
		マスク装着		○	○	○	<input type="checkbox"/> 事業所内および取引先との面談時は、原則と してマスクを装着する <input type="checkbox"/> 事業所に予備マスクを配布
		共通部分・接 触物の消毒			○	○	<input type="checkbox"/> 事業所内の人の接触が多い箇所を、薬剤 ※1 で1日1回以上消毒する。 <input type="checkbox"/> 会議室は使用終了時に使用者が消毒・清掃す る。 <input type="checkbox"/> 消毒箇所:ドアノブ、取手、手すり、スイッチ・ 操作盤、共用室のテーブル等
	感染対策 (車両)	車両の 感染対策		○	○	○	<input type="checkbox"/> 乗務中はマスクを装着する(装着拒否者は乗 務不可) <input type="checkbox"/> 車両内消毒、換気の励行 <input type="checkbox"/> セパレートカーテン、空気清浄機等の設置を 段階的に実施する
	感染対策 (営業所)	手指・飛沫対 策実施		○	○	○	<input type="checkbox"/> 入場時の手洗い・手指消毒ルートの設置 <input type="checkbox"/> 消毒液他必要備品の配置 <input type="checkbox"/> 感染対応点呼体制の実施 <input type="checkbox"/> マスク装着の義務化
感染対策 (無線セン ター)	飛沫対策実施		○	○	○	<input type="checkbox"/> オペレーター間にセパレーターを設置 <input type="checkbox"/> 1m 以上のソーシャルディスタンスを確保 <input type="checkbox"/> 2 か所以上での分散業務の実施 <input type="checkbox"/> 入社時の体調チェック検温→37.5 度以上 の場合勤務不可 体調不良者は勤務不可	

感染※2者 発生対応	感染者情報、 接触情報の 集約		○	○	○	<input type="checkbox"/> 感染者、接触者情報は、従業員→上長→労務 担当ルートで情報集約する。 対象とするケースは以下のとおり <ul style="list-style-type: none"> <li>● 従業員本人が感染した</li> <li>● 同居家族が感染した</li> <li>● 感染者の濃厚接触者と判定された</li> <li>● 面談相手 や接触者が感染した</li> <li>● 接触確認アプリで陽性者接触が確認され た</li> </ul>
	保健所の疫学 調査受入		○	○	○	<input type="checkbox"/> 疫学調査受入準備(フロア見取り図、名前入 り座席表等を用意) <input type="checkbox"/> 疫学調査実施に協力する
感染症 発生対応	事業所消毒		○	○	○	<input type="checkbox"/> 保健所指導のもと指定箇所を消毒する、ま たは業者に委託する
	濃厚接触者 管理		○	○	○	<input type="checkbox"/> 濃厚接触者の出勤判断 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 体調に異常がある場合は保健所の指示に 従い自宅待機させる</li> <li>● 体調に異常がない場合は部門長判断</li> </ul> <input type="checkbox"/> 濃厚接触者の健康状態(体温・咳・倦怠感等) を毎日管理して保健所に報告する
	外部への対応		○	○	○	<input type="checkbox"/> 接触可能性が高い取引先に感染者発生を連 絡する。その際にわかる範囲の感染経路、接 触者、社内対策を伝える <input type="checkbox"/> ビル管理会社に連絡する(自社ビルでない場 合)
業務上の 濃厚接触 削減策	会議・打合せ の小規模化		○	○	○	<input type="checkbox"/> 会議・打ち合わせは 60 分以内、人数は長机 1つあたり 1 名以内(オンライン参加分を除 く) <input type="checkbox"/> 1m 以上のソーシャルディスタンスを確保
	スタンディ ングミーティ ングの実施方 法変更(朝礼・点 呼等)		○	○	○	<input type="checkbox"/> 唱和など全員が声を出すことを避ける <input type="checkbox"/> 1m 以上のソーシャルディスタンスを確保 <input type="checkbox"/> 点呼カウンターに透明パーティションを設ける

		共用室の使用制限			○		<input type="checkbox"/> 喫煙室の使用禁止(喫煙場所別途確保) <input type="checkbox"/> 休憩室等の密閉された共用室の使用禁止または人数制限(営業所毎に広さに応じ設定)
		エレベーター乗車制限		○	○	○	<input type="checkbox"/> エレベーターは原則運用中止(運用の場合は、乗車人数を4人以内とする)
		接触確認アプリの導入			○	○	<input type="checkbox"/> スマホ使用者は、接触確認アプリのインストールを推奨する
		事業所来訪者の体調チェック		○	○	○	<input type="checkbox"/> 事業所来訪者に対して以下を求める <ul style="list-style-type: none"> <li>● 手指の消毒、マスクの着用、発熱の確認</li> </ul> <input type="checkbox"/> 来訪者カードで来訪者名と時間、対応者、面談目的を記録する。
業務	需要減少対策	稼働調整		○	○	○	<input type="checkbox"/> 稼働率、台当たり売上高の状況を分析し、配車で調整 <input type="checkbox"/> 休業の検討 無線・アプリの配車台数が平常時の 50 % 以下となったとき 台当たり營收が 3 万円未満となったとき
		テレワーク	テレワーク勤務の実施		○	○	○
		オンライン会議の実施		○	○	○	<input type="checkbox"/> 複数事業所メンバーによる会議は移動せずオンラインで行う(経営幹部会、営業所報告、所長会議、地方直系会議)
	出退勤基準の特例	時差出勤の適用		○	○	○	<input type="checkbox"/> 通勤時間が長い者、感染時重症化リスクが高い者等は時差出勤を許可する
出勤禁止基準の適用			○	○	○	<input type="checkbox"/> 37.5 度以上の発熱があり診断が確定していない者は出勤をさせない	
顧客・サプライチェーン	取引先対応	人的交流の多い取引先と対応すり合わせ		○			<input type="checkbox"/> 人的交流の多い取引先と、お互いの事業所内衛生対策、感染者を出した時の対応をすり合わせる

ン		感染者を出した取引先への対応		○	○	○	<input type="checkbox"/> 感染者を出した取引先に、わかる範囲の感染経路、接触者、社内対策の報告を求める
	顧客対応	訪問営業の制限			○	○	<input type="checkbox"/> できる限り電話やメール、オンライン会議に置き換える <input type="checkbox"/> やむを得ず訪問する場合は以下を遵守する <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事前に相手方の了解を得る(親しい仲間でもノンアポ訪問厳禁)</li> <li>● 面談を原則 30 分以内で済ませる</li> <li>● マスク着用、ソーシャルディスタンス確保、対面で座らない、大声で話さない、握手しないなど感染防止マナーを守る</li> </ul>
情報発信	広報活動	自社の取組を情報発信		○	○	○	<input type="checkbox"/> タクシー、ハイヤーの感染対策実施内容をホームページに掲載 <input type="checkbox"/> ホームページや SNS、店頭などで感染防止対策や営業状況等の情報を発信する。フェーズごとに内容を更新する。
		タクシー利用時の要請		○	○	○	<input type="checkbox"/> マスクの着用を要請する
経営管理	柔軟な業務体制	業務縮小による体制変更			○	○	<input type="checkbox"/> 縮小した業務の担当者を他業務に割り当て <input type="checkbox"/> 曜日ごと等の交代勤務を実施(ワークシェア)
	雇用調整	休業の開始			○		<input type="checkbox"/> 余剰となる社員の休業を行う
		中途採用の縮小			○		<input type="checkbox"/> 中途採用活動を縮小する <input type="checkbox"/> 中途採用予算の執行見直し(決裁権限を営業所長から部長に引きあげ)
	経営への影響度試算	事業縮小・停止による経営影響を試算		○			<input type="checkbox"/> 事業が 30 %縮小した場合の月次の資金減少額を試算する <input type="checkbox"/> 手持資金と比べて資金が何ヶ月で枯渇するか試算する
	金融機関	融資枠の交渉・設定			○	○	<input type="checkbox"/> 主要金融機関に融資枠の設定を交渉する <input type="checkbox"/> 必要に応じて融資を受ける
	行政支援策活用	助成金・補助金申請			○	○	<input type="checkbox"/> 雇用調整助成金(厚労省) <input type="checkbox"/> テレワーク助成金(厚労省、都道府県等) <input type="checkbox"/> 感染症対策助成金(都道府県等) <input type="checkbox"/> 既存補助金の感染症対策特別枠の活用

		給付金申請			○	○	<input type="checkbox"/> 売上減少事業者給付金(国・都道府県・市区町村) <input type="checkbox"/> 休業・時間短縮協力金(都道府県) <input type="checkbox"/> 家賃支援給付(国・都道府県)
--	--	-------	--	--	---	---	--

※1 アルコールのほか、市販の塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム液)を0.05%希釈して使用など。

※2 “感染”とは、検査で陽性反応が出たことをいう。